

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2020年6月18日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活・営業が大変 深刻な相談・制度の問い合わせも
函館・札幌・北見で 相談会、制度活用のための学習会

6月も、各地で相談会が行われています。6日、全国いっせい「コロナ災害を乗り越えるいのちと暮らしを守るなんでも電話相談会【第2弾】」(札幌・函館)、11日、「暮らしのSOSなんでも電話無料相談」(札幌)、13日、「新型コロナなんでも相談会【第2弾】」(北見)が行われ、この間の悪政や新型コロナウイルス災害の影響による相談が寄せられました。

手持ち金がわずか。医療費が心配。持続化給付金、国保料減免の申請したい



6日の相談会は、全国で1125件の相談。札幌や函館の電話相談会場には、「新型コロナで仕事が減り収入が減ったため、生命保険を解約したが、手持ち金はわずか6万円(50代女性)」、「所持金がだんだんなくなってきた(50代女性)」、「新型コロナで給与収入がなくなり、年金だけでは生活できない」(70代男性)、「新型コロナで解雇後の雇用保険がまもなく切れる」などの相談が寄せられました。



11日の相談会では、「医療費が心配」「難病医療を利用しているが、年収によって一部負担金が高くなる。特別定額給付金は収入になるのか」など、医療費負担や子育ての悩みなどの相談も寄せられました。

13日の相談会は、会場での相談と電話での相談も行いました。4月に続いて2回目。開始時間前から市民が訪れ相談者は20人。「収入が下がり、持続化給付金、国保の減免申請をしたいがどうすればいいか」などの制度の問い合わせが多く、「3月から休んでいるが事業所が休業手当を払ってくれない」などの切実な相談も。生活保護申請や市営住宅減免制度などの質問もあり、利用可能な制度や申請方法を説明しました。



札幌・国保・介護・後期高齢者医療制度学習会 保険料の減免を



6月には国保料などの通知書が届きます。毎年、札幌社保協と国保・介護・後期高齢者医療110番連絡会は、各保険制度の保険料や減免などの学習会を行っています。

13日の学習会では、「新型コロナ感染症により収入減少による国保料・後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免について」と題して、道生連の三浦誠一会長が講演しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、失業・事業の廃止や収入が3割以上減収した場合など、保険料の減免費用を国が全額負担する制度が創設。保険料が全額免除させる場合もあります。「減免制度を大いに活用しましょう」と呼びかけました。

相談活動と制度学習会 (今後の予定)

札幌市各地で 国保等110番

北区 困ったときの110番相談会
白石区 国保110番相談会

6月21日(日) 13:00~16:30 北区民センター
6月25日(木) 9:30~11:30 白石区民センター

十勝社保協国保料・介護保険料集団減免申請会 6月26日(金) 14:00~15:30 とかちプラザ
学習会「医療難民を出さない国民健康保険制度に」 講師：稲葉典昭氏 (共産党帯広市議)

